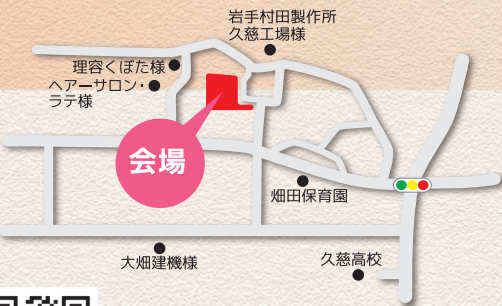


9/28(土) 29(日)

9:00am - 5:00pm 予約不要

完成見学会



現地にスタッフが
おります



会場案内

ゼロエネルギー住宅
太陽光 5.44 kw

断熱等級 6
UA値 0.25

長期優良住宅
耐震等級 3



TEL・メールでの予約も受付します
TEL (0194) 52-0077
◀メールはこちら

【等級5で建てた場合】

【当住宅】

住まいに関わる月々のお支払いとしては、
住宅ローン+光熱費+メンテナンス費用+保険費用+税金のトータルです。
家づくりの初期費用だけでなく、
住み続けるための費用もトータルしてコストダウンできる住宅になります。
住宅ローンを安くするというよりも、
“あなたのお財布から生涯出ていくお金を減らすこと”が大切です。

比較してみてください

住宅(住戸) 再エネ設備なし

建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル

1 エネルギー消費性能 ★☆☆☆☆

2 断熱性能 1 2 3 4 5 6 7

目安光熱費 約29.1万円/年

ZEH水準 エネルギー消費性能で★3つ(太陽光発電は考慮しない)、かつ断熱性能で5を達成

自己評価 評価日 2024年9月12日

1 エネルギー消費性能

国が定める省エネ基準からの程度エネルギー消費量を削減できているかをみる指標(BEI)を、星の数で示しています。

太陽光発電なしの削減率 14% BEI(0.86) ★☆☆☆☆

太陽光発電(自家消費分)を含む削減率 14% BEI(0.86) ★☆☆☆☆

太陽光発電(自家消費分+売電)を含む削減率 14% BEI(0.86) ★☆☆☆☆

POINT BEIとは、国が定めるエネルギー消費量の基準値を1とした際に、当該建築物のエネルギー消費量がいくつになるかを示したもので、BEI=0.80であれば削減率は20%となり、星の数は3つ(0%で1つ、さらに10%ごとに星1つ)で表現されます。建物の断熱性を高め、省エネ性の高い設備を導入し、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用設備を導入することで、削減率は高まります。

2 断熱性能 「建物からの熱の逃げやすさ」と「建物への日射熱の入りやすさ」の2つの指標により、建物の断熱性能を評価しています。日本全国を8区分の地域に分け、各地域の気候条件等を基準値が定められており、1〜7段階で評価されます。

外壁平均熱貫流率 0.50

冷房期の平均日射熱取得率 1.5

3 目安光熱費 住宅の省エネ性能に基づき、算出された電気・ガス等の年間消費電量(設計二次エネルギー消費量)に、全国統一の燃料等の単価を掛け合わせて算出した1年間の光熱費を目安として示しています。実際の光熱費とは異なりますので、ご注意ください。

約29.1万円/年

住宅(住戸) 再エネ設備あり

建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル

1 エネルギー消費性能 ★★★★★

2 断熱性能 1 2 3 4 5 6 7

目安光熱費 約15.9万円/年

ZEH水準 エネルギー消費性能で★3つ(太陽光発電は考慮しない)、かつ断熱性能で5を達成

自己評価 評価日 2024年8月22日

1 エネルギー消費性能

国が定める省エネ基準からの程度エネルギー消費量を削減できているかをみる指標(BEI)を、星の数で示しています。

太陽光発電なしの削減率 51% BEI(0.49) ★★★★★

太陽光発電(自家消費分)を含む削減率 64% BEI(0.36) ★★★★★

太陽光発電(自家消費分+売電)を含む削減率 103% BEI(0.36) ★★★★★

POINT BEIとは、国が定めるエネルギー消費量の基準値を1とした際に、当該建築物のエネルギー消費量がいくつになるかを示したもので、BEI=0.80であれば削減率は20%となり、星の数は3つ(0%で1つ、さらに10%ごとに星1つ)で表現されます。建物の断熱性を高め、省エネ性の高い設備を導入し、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用設備を導入することで、削減率は高まります。

2 断熱性能 「建物からの熱の逃げやすさ」と「建物への日射熱の入りやすさ」の2つの指標により、建物の断熱性能を評価しています。日本全国を8区分の地域に分け、各地域の気候条件等を基準値が定められており、1〜7段階で評価されます。

外壁平均熱貫流率 0.25

冷房期の平均日射熱取得率 1.5

3 目安光熱費 住宅の省エネ性能に基づき、算出された電気・ガス等の年間消費電量(設計二次エネルギー消費量)に、全国統一の燃料等の単価を掛け合わせて算出した1年間の光熱費を目安として示しています。実際の光熱費とは異なりますので、ご注意ください。

約15.9万円/年

